



はじめに

人口減少と超高齢化が進む中で、市の持続的な発展を実現するためには、全ての人がその能力を発揮し、多様な生き方を選択できる社会の構築が急務となっています。

しかし、依然として固定的な性別役割分担意識や性別に関する無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)、それに基づく慣習が根強く残り、性別に捉われないことなく誰もが活躍できる社会の実現を困難にしており、地域や社会全体の活力を阻む要因となっています。

こうした課題に対応するため、本市では「桐生市男女共同参画計画(令和 8 年度～令和 12 年度版)」を策定し、全ての人が性別にかかわらずその潜在能力を発揮し、多様な生き方や働き方を選択できる環境づくりを進めるとともに、地域におけるジェンダー平等の実現に向けた具体的な施策を展開します。

本市では、「女性の幸福度を高める」ことを市長公約の一つに掲げ、女性がその能力を発揮しながら活躍を続けられる社会の実現を重要な柱としています。

女性がいきいきと活躍し続けられる環境を整え、女性が社会で活躍する機会を広げることは、女性の幸福度を高めることにつながります。

そして、女性が市の計画策定やまちづくりへ参画することで、より多様な価値観を反映した地域づくりを可能にします。

このことは、桐生市の活力向上と持続可能なまちづくりの原動力となり、女性のみならず、地域や社会全体の幸福度向上に寄与し、桐生市全体の魅力が高まり、更には「女性・若者から選ばれる桐生市」の実現にもつながります。

また、本計画の推進は、国際社会全体の普遍的な目標として国連が掲げる、持続可能な開発目標(SDGs)の全てのゴールの達成に不可欠とされている「ジェンダー平等の実現」及び「ジェンダーの視点の主流化」にも資するものと考えております。

全ての人が自分らしく生き、輝ける社会を実現するため、市民の皆さまとともに歩みを進め、地域全体で協力して取り組むことを目指します。そのためにも、皆さま一人ひとりの意識改革と行動が求められており、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多くの貴重なご意見やご協力をいただきました桐生市男女共同参画推進協議会の委員の皆様、並びに市民意識調査にご協力をいただきました市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和 8 年 3 月 桐生市長 荒木 恵司